

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

第41号 令和5年4月



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
http://konagayajunji.web.fc2.com/
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp

facebook

小長谷順二 検索

春たけなわの好季節となりました。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、新型コロナウイルスの発生から3年余りが経過し、政府は新型コロナウイルスの感染法上の分類を、5月8日から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると決めました。

社会経済活動並びに私たちの生活が真に正常化されることにつながり、観光地である当市の人流の増加による地域経済の活性化、訪日旅行・海外旅行といった国際交流の活発化等で、疲弊した経済の再生に期待します。

令和5年第1回伊豆市議会定例会が2月22日に開会し、令和4年度補正予算や令和5年度当初予算、条例の改正など多くの議案が上程され、議場での質疑、常任委員会、連合審査を経て3月23日の本会議に於いてすべての議案は原案どおり可決されました。

当初予算は227億9,600万円と過去最大の予算規模となり、令和7年度以降の「伊豆市新時代」の幕開けに向けてさまざまな社会・経済問題に即応するための施策に果敢に取り組む予算編成となりました。

令和5年度伊豆市一般会計(当初予算総額227億9,600万円)主要事業【☆新規 ◎拡充 ○継続】

○ 新中学校整備事業	17億8,178万円	☆◎○ 森林環境譲与税活用事業	9,193万円
○ リサイクルセンター整備事業	9億7,415万円	☆○ 自治体DX推進事業	6,413万円
○ 松原公園津波複合施設整備事業	7億5,579万円	☆ 中伊豆交流センター再整備事業	4,166万円
○ (仮称)日向公園整備事業	5億6,339万円	☆ 車両一体型給水タンク購入事業	2,198万円
○ 包括的アウトソーシング事業	2億3,400万円	☆○ わさびの郷構想推進事業	8,037万円
☆ 萬城の滝周辺整備事業	9,926万円	☆ ふるさと観光地域魅力化事業	3,000万円
☆ 公共施設民間活用推進事業	9,700万円	☆○ 土肥地域高校魅力化支援事業	1,192万円
☆○ 移住定住促進事業	9,131万円	○ 美術館建設推進事業	938万円
☆ 伊豆っ子未来応援金支給事業	1,855万円	☆◎○ 戦略的プロモーション事業	913万円
◎ 出産準備金支援事業	1,100万円	☆ 危険空き家等対策補助事業	510万円
☆ 第2子以降保育料無償化事業	732万円	☆◎ ゼロカーボン推進事業	702万円
☆◎○ 出会い・婚活支援事業	414万円	◎ こども園体験付きお試住宅事業	659万円
◎○ 妊産婦サポート事業	165万円	○ 伊豆キャンどっと混む事業	2,132万円

勝俣農林副大臣わさび沢・しいたけ原木伐採現場視察

1月18日、勝俣農林副大臣が中伊豆筏場のわさび沢崩落箇所としいたけ原木伐採箇所の視察を行いました。

菊地市長と浅田議員と私、そして静岡県・伊豆市の担当職員も同行し、わさび栽培・原木しいたけ栽培の現状と課題について組合長らが副大臣に訴え改善を求めました。

わさび沢については、モノレール改修に関する手法のアドバイスをいただき、県・市も検討を始めるとの事です。

原木しいたけ森林作業道整備補助金の要件緩和については、原木栽培発祥の地として生産者の意欲向上のために、国・県と連携をはかり、早急に取り組むよう強く要望しました。



上白岩 しいたけ原木伐採箇所

菜の花舞台4年ぶりに小土肥田んぼで開催予定

第28回菜の花舞台(4月8日17:30~9日12:00~)開催に向け準備が進んでいます。コロナ禍で昨年は旧土肥小学校体育館で朗読会の形で実施しましたが、小土肥の田んぼ特設会場での開催は実に4年ぶりになります。

橋爪功さんは、1989年4月から放映されたNHK連続ドラマ小説「青春家族」の出演がきっかけで土肥の若者と交流が始まり、小土肥に稽古場兼合宿所「橋伊豆」を建設。

1994年の第1回菜の花舞台から29年になります。今回は地域づくり協議会の後援を頂き、抽選会を開催し橋爪功さんとの交流の時間もありますので是非お越しください!



第23回 泣かなかった赤鬼

小長谷順二の一般質問（第1回 定例会 令和5年3月14日）

1. 自然災害から市民生活を守る健全な森林育成

Q 森林は、木材の生産と水源の涵養、山地災害防止、土壌保全、快適環境の形成、生物多様性保全など、多面的な機能の発揮を通じ、地域住民の生活と深く結びついています。

この貴重な森林資源の伊豆市の現状を見ると、戦後営々と続けられてきた造林の推進により「伊豆市森林整備計画書」の人工林率は53%になっています。

地球温暖化の影響からか、近年では、大型台風だけでなく、長雨や突発的な豪雨、竜巻による突風被害なども発生しています。

第2次伊豆市総合計画では、災害などリスクに強いまちづくりや森林環境譲与税を活用した林業振興を謳っていますが、森林が持つ大きな多面的価値やそれに寄せられている期待と、採算性が低いという林業が抱えている現実の間には大きなギャップがみられます。

森林の価値を高めると共に市民生活を守るために必要不可欠な森林の整備・育成について質問いたします。

A 森林環境譲与税や静岡県の「森の力」再生事業を活用し私有林の下刈り、除伐、間伐作業を進めています。市有林の整備は国県の補助事業で整備を実施しています。

令和元年度創設の森林経営管理制度で中伊豆・天城湯ヶ島・修善寺・土肥地区をモデル事業として森林所有者にアンケート調査を実施し、調査結果に基づき現地調査を行い集計計画を策定しています。

木材の搬出の為に作業路網は令和元年から3年間で約72kmの整備を行いました。効率的な木材生産を図るため、森林技術者や森林施業プランナーを育成し、林業従事者の定着を図ながら市産材活用を促し、持続可能な林業振興に努めてまいります。



森の力による人工林再生整備(修善寺大平)

2. 観光施策と財源確保が急務

Q 少子高齢化により社会保障費の増大、自治体は元より、国の財政も逼迫する中、新型コロナウイルス対応が追い打ちをかけ、国家財政の悪化に拍車をかけている昨今、交付金や補助金比率の高い当市にとっては、大変憂慮すべき時代となる事が想定できるので自主財源確保は必要不可欠になり、改めて基幹産業である観光施策が重要となってきます。

近年、宿泊観光旅行は、団体旅行が減少し、家族や知人・友人との旅行が主流になり、ますます旅行形態は、個人化、小グループ化の傾向が強まっています。

アフターコロナを見据え「国際的観光文化環境都市」を目指すには、しっかりと財源確保が必要です。

基幹産業である伊豆市の観光施策と財源の確保について質問いたします。



ライトアップ事業予定の屋形海岸

A 令和4年4月からふるさと納税の寄付目的「魅力ある観光地域づくりに関する事業」が新設され、この事業を指定した寄付額は約1億5,000万円となりました。返礼品や事務経費を差し引いた金額の2分の1、上限3,000万円を観光施設整備に充てることになっています。

令和5年度予算として、伊豆市一体となったライトアップを整備するために、設計委託費1,000万円、工事費2,000万円を予算計上し、今後ふるさと納税を財源とした魅力ある観光地域づくりに関する事業を「観光協会、商工会、その他関係団体」と協議しながら計画的に進めてまいります。

「観光庁高付加価値化」事業については、修善寺・土肥・天城湯ヶ島の3地区において45事業者が総事業費21億6,000万円の事業を実施しています。

この事業により客室単価・満足度アップ、リピーターの増加が期待されます。さらに観光人材の育成に取り組み、観光政策を進めてまいります。

第39回

小長谷順二 市政報告会

令和5年4月12日(水) PM7時～
土肥支所4F集会室

3月3日、宗教法人平和寺本山敷地内に持ち込まれた廃棄物を含む盛り土が崩れ、隣接する市の土地に流れ込んだ問題をめぐり、伊豆市が宗教法人や関係者を訴えた裁判で、静岡地方裁判所沼津支部は法人などに3,113万4,322円の賠償と盛り土の撤去を命じる判決を言い渡しました。おおむね市の主張が認められましたが、今も敷地内には廃棄物交じりの土砂が残っており、今後も県としっかり連携し対応していただきたい。